

# 知らなきや損する 歯のはなし

羽生市木村歯科医院HPにて  
バックナンバー掲載中!!



## ⑥2 Q&Aのコーナー(2)

木村 匡司

Q. インプラントは治療後年数が経つとどうなるのでしょうか？

A. 歯科用インプラントは、手術によりインプラント体を骨に入れます。現在多くのものは、チタンが素材であり1ヶ月から数ヶ月で骨に馴染み生着します。生着率は92〜97%以上にまで上がってきています。生着すると噛む力に耐えられるようになります。人工の歯として機能するようになります。その後は必要なメンテナンスを行えば、スウ

エーデン製・スイス製・アメリカ製の物が有名ですが、40年以上機能した報告があります。そして

その中でも世界最長の記録を持つのがスウェーデン製の物です。しっかりと管理をすれば、相当長く使えるものであるといえます。

いったん生着したにもかかわらず管理が悪くなったり、口の中の環境や全身的な体調によって、インプラントも歯周病になることがあります。重度の状態になれば取り出さなくてはならな



インプラントはメーカーによって値段も保証も違います。



場合もあります。

一般にインプラント治療は高額といわれていますが、治療後もしっかりメンテナンスができる施設で受けなければなりません。また、インプラ

ントの材質は人工関節などと同じ生体親和性の良いチタンです

ので、インプラントの本体自体は、割れるとか折れてしまわない限り経年的に劣化していく事は無いと思われ

ます。しかし、このようにインプラント自体は長く使えるものであれば、世界でも認められたしっかりとしたメーカーの物でない、10年20年後にインプラントを留めるネジ

が壊れてしまった場合などに、使っているメーカーがなくなってしまう対応できなくなってしまうという事も起こりえます。今現在も既に今まであったインプラントメーカーの内200社程は無くなってしまっています。

インプラント治療についてはもちろん、他にも歯に関する疑問にお答えする健康講座も好評開催中です。ご予約の上、お気軽にご利用ください。

0120・255・418